

表彰 受賞

11月3日(月)の文化の日、平成26年度桂川町表彰式が桂川町役場で行われました。

この表彰は桂川町表彰条例に基づくもので、町の政治・経済・文化・社会その他各般にわたって、町政振興に寄与し、または町民の模範と認められる行為があった方を表彰するものです。

今年は2名の方が表彰されましたので、ご紹介します。

長年の労と功績をたたえ、栄えある受賞

功勞表彰

かじま えいじ
梶嶋 英二 さん



昭和49年4月、団員として桂川町消防団に入団以来、終始一貫、消防精神に徹し、その着実な行動による功績は消防団員総ての認めるところであり、平成22年4月には団長に昇進され、その重責を果たすとともに団運営の円滑化、消防力の向上に尽力されました。

氏は、消防活動にあっては、「あらゆる災害から住民の生命、身体及び財産を守る」という消防精神に基づき、常に陣頭に立ち、長年にわたり災害現場で積み上げてきた豊かな消防経験と指導力によって部下団員の指導育成を図り、消防力の整備強化の拡充、近代化の推進等、消防諸般の業務に尽力した業績は誠に顕著なものがあり、消防関係者はもとより地域住民の絶大な支持、全幅の信頼を得られています。

以上のように、桂川町の安全・安心なまちづくりの一翼を担ってきた氏の功績は多大であり、今回の受賞となりました。

善行表彰

みぞお ゆきこ
溝尾 湯喜子 さん



氏は、その責任感と人柄から、民生児童委員として昭和49年12月に委嘱を受け、平成10年11月までの24年の永きにわたり、住みよい地域づくりと地域福祉の充実のために活動されてきました。

平成16年には、桂川町平山恵寿会会長に就任され、現在に至るまで、平山一・二地区老人クラブ会長として、会員をよくまとめ、公民館及び地域公園の清掃にも励み、地域住民からたいへん感謝されています。

また、地元地域においてボランティア団体平山布の会を平成16年に立ち上げ、当初より会長として手芸をとおした、会員同士の絆づくりや健康づくり、生きがいづくりに取り組まれています。

氏の町の公務を助力し、地域社会福祉の推進をとおして、町民のために尽力されてきたその功績は大であり、今回の受賞となりました。